

Drug Side Effects and Safety: A Comprehensive Guidebook

医薬品

副作用 ・ 安全性 ガイドブック

一般社団法人日本医薬品安全性学会 監修

一般社団法人日本医薬品安全性学会 前理事長
千葉科学大学薬学部 教授 宇野勝次 著

同効薬の副作用・安全性情報を比較できる。
お手持ちの医薬品集の
副作用&安全性情報を
補完する一冊！

『医薬品副作用・安全性ガイドブック』が漸く出来上がりました。本書はJASDS認定のDSD・DSSP・CDSIS)に対して、『医薬品副作用アセスメント』の対のテキストとして医薬品の副作用・安全性情報を提供するために企画しましたが、臨床現場の医薬品の多種多様な副作用や安全性の問題点に応えるために、便覧や辞書的傾向が強くなりました。

本書は1～63の薬効分類毎に〈共通〉と〈医薬品各論〉の構成からなり、〈共通〉は各薬効分類群の禁忌疾患(禁疾)、併用禁忌(併禁)、警告、高頻度副作用(副作用)、重大な副作用(重副)、過敏症、TDM、腎機能、肝機能、小児、高齢者、妊婦、授乳婦、その他の注意事項(注)について纏め、〈医薬品各論〉は各医薬品の剤形、禁疾、併禁、副作用、重副、注、小児、高齢者、妊婦、授乳婦について記載し、医薬品の副作用・安全性情報を網羅しました。

本書が他の医薬品集より有用な点は、〈共通〉で同効薬の副作用発現頻度の順序を示し、〈医薬品各論〉で副作用症状だけでなく発現頻度も示し、〈共通〉と〈医薬品各論〉で小児、高齢者、妊婦、授乳婦の安全性の評価を示している点であります。その意味で、本書は医薬品の安全性の視点から医薬品の適正使用の指針を示しています。是非、病院や薬局の各施設に本書一冊を配置して頂き、本書が医療現場で医薬品安全性指針の一助となれば幸いです。